

官民連携による奈良市環境都市ビジョン具現化及び  
事業スキーム構築等支援業務プロポーザル  
評価基準

① 審査について

- (1) 提出された企画提案書等を評価基準に基づいて評価を行い、最も高い得点を獲得した者を優先交渉権者として選定する。
- (2) 提案書に基づくプレゼンテーションを実施し、審査を行うものとする。
- (3) プレゼンテーションは 35 分程度(提案内容の説明:15 分、質疑応答:20 分)を予定している。なお、応募者が多数の場合は、プレゼンテーション実施前に書類審査を行い、不採用を決定する場合がある。
- (4) 評価の結果、評価合計点が満点の 6 割(60 点)に満たない場合は、選定対象としない。
- (5) 公平・公正の観点から、プレゼンテーションにおいても提案者の名称を伏せること。また、参加資格決定通知に提案者記号を付記するので、法人名ではなく当該記号を利用すること。

② 評価項目及び審査内容について

(1) 企画提案

評価項目ごとの採点は、表に規定する配点に下記の評価基準乗率を乗ずることにより算出する。

評価基準乗率

|                          |      |
|--------------------------|------|
| A:十二分に満たしており、かつ特筆すべき点がある | 100% |
| B:十二分である                 | 80%  |
| C:十分である                  | 60%  |
| D:やや不十分である               | 40%  |
| E:不十分である                 | 20%  |

| 評価項目               | 審査内容                                                                                                                     | 配点 |
|--------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| ① 全体コンセプトに基づいた事業提案 | ・「奈良市における環境都市の実現について」の趣旨を的確に捉えたうえで、本市の地域特性を活かした環境都市の実現に向けた事業提案が優れているか。また民間事業者のノウハウを活用することで、新たな価値を地域に生み出す実効性のある提案となっているか。 | 10 |
| ② 官民連携・事業手法        | ・実力ある民間事業者や多様な主体の参画を呼び込むための戦略が卓越しているか。市場の意欲を引き出し、奈良市のメリットを最大化させる事業スキームが示されているか。<br>・収益モデルの考え方が具体的か。単なる施設整備に留まら           | 20 |

|                   |                                                                                                                                                                                                                                                            |    |
|-------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
|                   | ず、中長期的な事業継続性を確保するための創意工夫が示されているか。                                                                                                                                                                                                                          |    |
| ③ 地域振興・合意形成に向けた提案 | ・各拠点での取組等について、地域課題を把握し、地域関係者が施設整備による「還元」を実感できる施策が提案されているか。また、資源・経済・人等の新たな地域内循環を生み出す仕組みや、期待感を醸成し合意形成を加速させるための、アプローチ案や対話戦略が卓越しているか。                                                                                                                          | 15 |
| ④ 実現可能性に関する提案     | ・過去 10 年以内に、廃棄物施設整備やまちづくり事業等において、本業務と同規模以上のプロジェクトを完遂した実績があるか。また、それらの経験から得た知見を本事業にどう活かすかという活用方針が具体的かつ実現性の高いものかを評価する。特に、官民連携事業の経験を本業務のスキーム構築に反映させる提案を高く評価する。                                                                                                 | 15 |
| ⑤ 実施体制            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業を実現するために、適切な実施体制・連携体制等が網羅的に想定されているか。</li> <li>・統括責任者（プロジェクトマネージャー）に、廃棄物施設整備、まちづくり、PPP/PFI 事業の業務経験や知見が豊富にあり、本市のビジョンを具現化する優れた統率力と実務能力を有しているか。</li> <li>・協働パートナーとしてのプロジェクトを遂行するにあたり、十分な人員リソースが確保されているか。</li> </ul> | 15 |
| ⑥ 経営の健全性          | ・財務状況に疑義がなく、業務を安定的に遂行できる基盤を有しているか。（JVの場合は代表企業の財務状況）                                                                                                                                                                                                        | 25 |

#### 見積金額

| 評価項目      | 審査内容                                |
|-----------|-------------------------------------|
| 業務コストの妥当性 | ・見積項目が不足している場合、提案上限額を超えている場合は選定しない。 |